

## 見沼田んぼ・野草スケッチ 「オシロイバナ」

科名：オシロイバナ科 オシロイバナ属

花言葉：「あなたを想う」「臆病」「内気」「恋を疑う」「信じられない恋」



111.9.8 芝川西側土手にて

- P. S. このオシロイバナは、夏から秋にかけて赤、黄、ピンク、白色の花を咲かせています。花は赤、黄色、白や絞り模様もある。花期も長く道端を彩っています。触ると葉や茎はねっとりべた付きます。オシロイバナの名前の由来は、「お寺の鐘」のような形の、熟した黒いタネをつぶすと白粉（おしろい）のような”白い粉”が出てくる。



↑ オシロイバナの画像より



<h2>「オシロイバナ」</h2>	
原産地：	南アメリカ（メキシコ）原産で江戸時代始めごろに渡来。
生育地：	多年草または一年草 野生化している
根：	暖地の冬に地上部が枯れても地下部が生き残り翌年芽を出す。
茎：	枝分かれして灌木状となる
葉：	全体に緑
花期：	6/25 ~ 10/末頃 午後四時頃から夜間に開きスズメガが吸蜜
花・花色：	花弁はなく、花弁はがくで基部は緑色でふくらむ。花の根元にある緑色のがくのようなものは総苞・ラップ型の花。
種子：	お寺の鐘の形で黒い種子
特徴：	根を利尿、関節炎の生薬として処方される。葉は切り傷、たむしの治療に用いられる
名前の由来：	種子には粉状の胚乳があり、これからオシロイバナの名がついた
<p>記述は、ウィキペディアのサイトなどを参考にさせていただきました。</p> <p>2016.11.5</p>	